

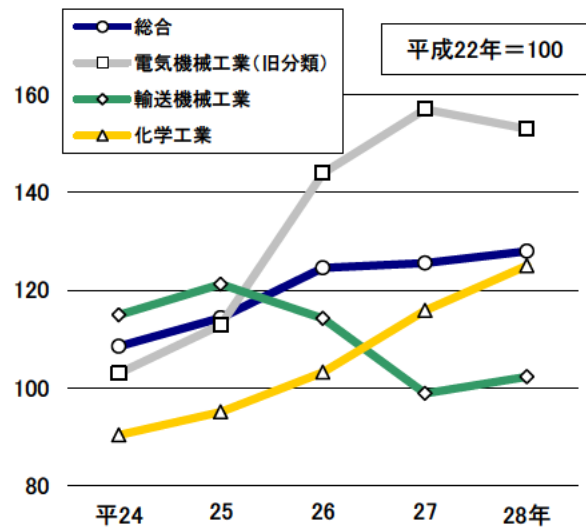
鋳工業

鋳工業生産の動き

平成28年の鋳工業生産指数（原指数）の年平均は127.9（平成22年=100）で、対前年比1.9%の増加となりました。

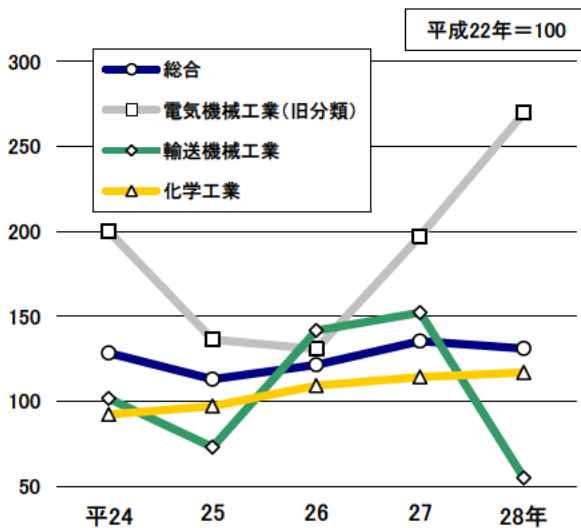
主な業種をみると、輸送機械工業102.3（対前年比3.4%増）、化学工業125.0（同7.9%増）、電気機械工業（旧分類）152.9（同2.5%減）となっています。

図21 鋳工業生産指数(原指数)



資料 県統計課
「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

図22 鋳工業生産者製品在庫指数(原指数)



資料 県統計課
「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

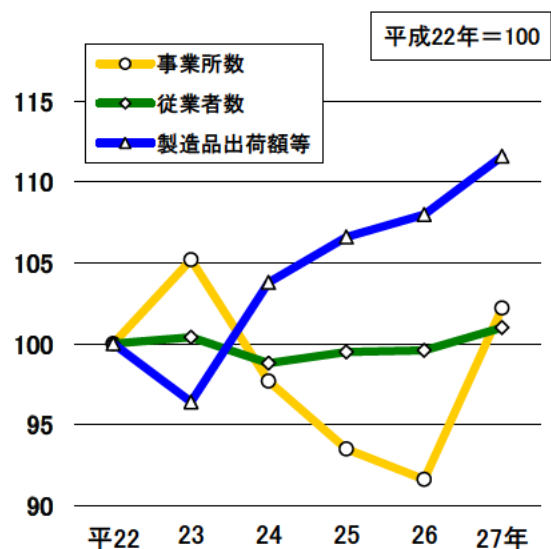
平成28年経済センサス活動調査（製造業）結果 （従業者数4人以上の事業所が対象）

（1）概況

平成28年6月1日現在の事業所数、従業者数、平成27年1年間の製造品出荷額等を指数（平成22年=100）でみると、事業所数102.2（対平成26年比11.6%増）、従業者数101.0（同1.4%増）、製造品出荷額等111.6（同3.4%増）となっています。

※図23の事業所数、従業者数は、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年は平成28年6月1日現在の数値（ともに経済センサス活動調査（製造業）の数値）。その他の年次は同じ年の12月31日現在の数値（工業統計調査の数値）。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



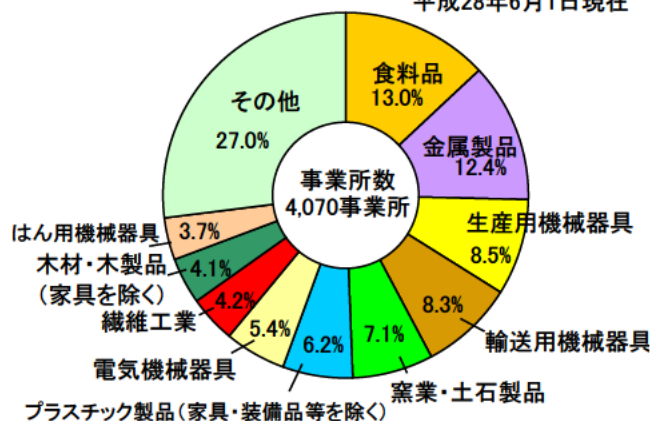
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成28年6月1日現在の事業所数、従業者数及び平成27年1年間の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の42.5%（1,729事業所）を占めていますが、従業者数では全体の5.4%（10,381人）、製造品出荷額等では同1.3%（1,449億円）となっています。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.1%（86事業所）ですが、従業者数では全体の43.0%（82,563人）、製造品出荷額等では同64.9%（7兆727億円）を占めています。

図25 業種別事業所数・従業者数、製造品出荷額等割合
平成28年6月1日現在



平成28年6月1日現在

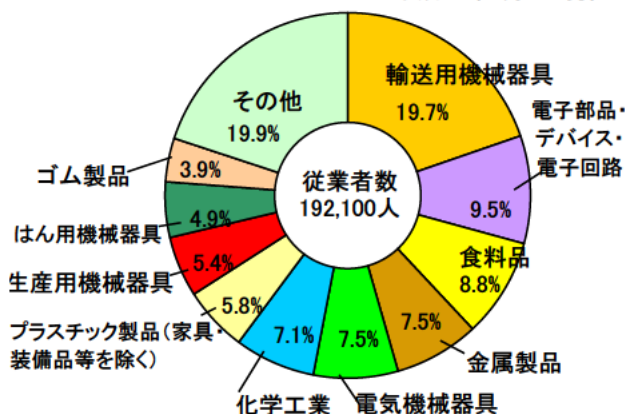
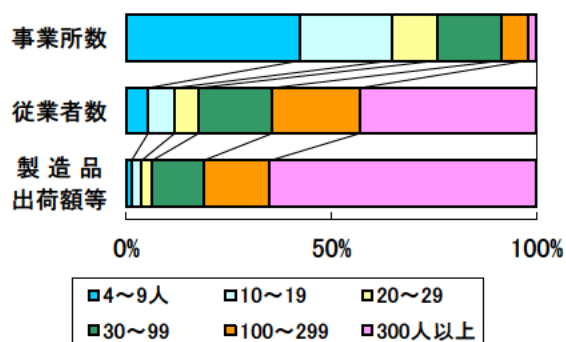


図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

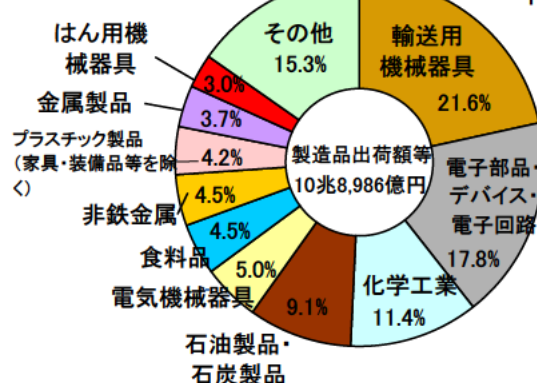
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.0%（530事業所）で最も高く、次いで金属製品製造業が12.4%（503事業所）、生産用機械器具製造業が8.5%（347事業所）などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業が19.7%（37,870人）、電子部品・デバイス・電子回路製造業が9.5%（18,317人）、食料品製造業が8.8%（16,872人）などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が21.6%（2兆3,508億円）と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が17.8%（1兆9,428億円）、化学工業11.4%（1兆2,385億円）などとなっています。

平成27年



資料 県統計課「三重の工業」